

平成28年度予算見積調書

課室名：畜産安全課
 担当名：畜産振興担当
 内線：4193

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B35	埼玉の肉牛を守り・育てる生産構造転換事業			一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	秩父高原牧場費		
事業期間	平成26年度～平成36年度	根拠法令	酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律、家畜改良増殖法			戦略項目	08	埼玉農業の競争力強化		
					分野施策	030201	収益力ある農業の確立			
1	事業の概要 高品質な和牛生産の割合が低い本県では、ＴＰＰによって大きな打撃を受ける可能性がある。 このため、和牛生産基盤の強化を図ることで、秩父高原牧場における和牛子牛の生産力を強化し、県内肉用牛農家へ和牛子牛を安定的に供給する。 和牛子牛生産拡大事業 35,533千円			5 事業説明 (1) 事業内容 県内酪農家から受託した乳用牛に秩父高原牧場で作成した優良和牛の受精卵を移植する。移植後、酪農家で産まれた子牛を買い取り、秩父高原牧場で約9か月齢まで育成する。優良な繁殖雌牛として期待できる子牛については県内和牛繁殖農家に、その他の子牛は県内和牛肥育農家に供給する。 和牛子牛生産拡大事業 35,533千円 秩父高原牧場への優良和牛繁殖雌牛の導入、県有和牛からの受精卵作成、酪農家から受託している乳牛への受精卵移植、受精卵移植で産まれた和牛子牛の買取・育成・譲渡 (2) 事業計画 平成27年度～ 受精卵の作成・移植、優良繁殖用雌牛導入、和牛子牛の買取・育成・譲渡(年間50頭) (3) 事業効果 優良な繁殖用和牛子牛が県内に保留され、県内和牛繁殖雌牛の資質向上が図られる。 また、県産肥育用和牛子牛の県内肥育農家への供給体制が確立し、県産和牛生産の拡大、乳用種・交雑種生産から和牛生産への転換が図られ、収益性の向上による経営安定が図られる。 【平成32年度目標】 和牛出荷頭数62%上昇(3,400頭 5,500頭)、農家1戸あたりの売上600万円上昇(1,600万円 2,200万円) (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 受精卵移植を実施する獣医師と連携し、乳牛への和牛受精卵移植の普及を推進する。 埼玉県肉用牛経営者協会や彩の国和牛繁殖農協協議会と連携し優良和牛子牛を供給する。						
2	事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3	地方財政措置の状況 なし									
4	事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
		財産収入	県債							
決定額	35,533	23,328	2,000					10,205	10,856	
前年額	24,677	10,368						14,309		